

エンゲージメントを最強の財務指標にする 「ヒト輝かせ資本経営」

株式会社イレブン・ラボラトリー (11-lab) 代表取締役社長 田辺 孝由樹 氏
元パナソニックITS(株) 代表取締役社長
元パナソニック オートモーティブシステムズ(株) 執行役員



【講演要旨】

かつて「グループのお荷物」とまで揶揄され、活力を失っていた組織が、いかにして離職率を抑え、業績をV字回復させ、日本を代表する健康経営優良法人へと変貌を遂げたのか。

私は2026年3月までの9年間、パナソニックITS株式会社の代表取締役CEOとして車載機器開発を担う技術者集団の陣頭指揮を執ってまいりました。10年前、閉塞感に包まれていた現場を救ったのは、管理による統制ではなく、社員一人ひとりの可能性を解き放つ「エンゲージメント」への注力でした。

本講演では、ウェルビーイングと高収益を両立させた実体験に基づき、組織改革の核心である「ヒト輝かせ資本経営」の具体策とそのプロセスを詳しく紹介します。「明るい未来をつくる力」をいかにして組織に宿すのか。その再生のドラマと、明日から経営に活かせるヒントをお伝えいたします。

【略歴】

北海道出身。平成9年松下システムエンジニアリング株式会社 札幌支社入社。パナソニック ITS株式会社 欧州・米国向け開発部門長、Panasonic Automotive Systems Europe (ドイツ) Director、パナソニックITS株式会社 代表取締役社長、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 執行役員 (インフォテインメントシステムズ事業部長) を経て令和8年4月に次世代リーダー育成と地方創生を掲げ、株式会社イレブン・ラボラトリーを創業。社外では、25年度文科省アントレプレナーシップ推進大使、経済同友会 中国委員会 副委員長を務める。University of Massachusetts Lowell MBA 修了 (経営学修士)

パナソニックグループ在籍中には「エンゲージメント」を最強の財務指標と捉える「ヒト輝かせ資本経営」を実践し、2024年グループCEO業績表彰、2025年総務アワード・ゴールド (日本一)、2026年健康経営優良法人ホワイト500 (日本Top30) など、組織改革で圧倒的な成果を収める。

2026年4月8日(水) 第1669例会

『エンゲージメントを最強の財務指標にする
「ヒト輝かせ資本経営」』

株式会社イレブン・ラボラトリー 代表取締役社長
田辺 孝由樹 氏 (紹介者 伊藤 道男 会員)

次のプログラム

2026年4月15日(水) 第1670回例会

「不整脈の最新治療」

東京医科大学 循環器内科学分野 主任教授
東京医科大学病院 副院長

里見 和浩 先生 (紹介者 吉田 雅俊 会員)